



イヤイヤ期の対応方法

「魔の2歳児」とも呼ばれるイヤイヤ期。口を開けば「イヤ!」と言う小さな我が子に振り回されると、ママやパパのストレスは募りますよね。この時期どうして「イヤ!」が始まるのでしょうか。そして、ママやパパは、どう対応すればいいのでしょうか。子どもに自我が芽生え、いろいろなことが少しずつ自分でできるようになると同時に、自己主張が強まる時期が始まります。個人差はありますが、1歳半から2歳くらいの時期にこの時期が始まり、イヤイヤのピークを迎えることから「魔の2歳児」と言われる所以です。



言うことを聞かないとき …子どもの気持ちを汲んで…

成長に伴い、自立心が芽生えてくるので、言うことをきかなくなる時期があります。親は、「わがまま」と感じますが、一方的に叱らず、その理由を考えて、子どもの気持ちを汲みながら、冷静に対処しましょう。

子どもは褒めて育てよう …上手な叱り方…

子どもは、褒められると『認められた』という自信になり、『またやってみよう』という意欲につながります。子どものいいところを意識して、まずはいっぱい褒めてあげましょう。ただ、物事の善し悪しがわからない子どもは、叱られることもたくさんあります。叱ることは、親も好きではないはずですが、叱り方のポイントを知って、上手に叱りましょう。

叱り方のポイント

- ☆わかりやすい言葉と表情で、伝える。
- ☆叱るときは「パパが怒るよ」などと、人のせいにしない
- ☆感情的に叱らない
- ☆叱った後に笑わない（叱られることが遊びになってしまう）
- ☆危険や危害を起こす時はその場で叱る（後からでは効果はありません）



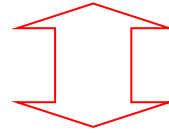


言うことを聞かない理由

- いつもは何も言われのないに？（同じことをしても人によって対応が違くと子どもは迷います）
- 体調が悪い（体調がよくない時は機嫌も悪くなります）
- 睡眠不足（眠いときは、意識もボーっとしているので、感情のコントロールができにくくなります）
- わがまま（ただし、大人からはわがままと見える事の中にも、子どもなりの理由があることもあります）



対応方法



- パパやママ、じいじやばあば、其々で許される範囲が違くと、子どもは自分の都合のいい人のところに行って、要求を通そうとします（許容範囲は大人同士でここまでは許すけど、これはダメというルールを決めておくといいですね）
- ダメなことはダメとはっきりした態度で伝える
- 体調を調べる
- 理由を考える（眠いのかな？おなかがすいているのかな？何がしてほしいのかな？）
- わがままと感じることで、まずは、子どもの言い分や気持ちを聞き、認めたくて、何がいけなかったかを分かり易く知らせてあげましょう



より具体的な対応ってどんなやり方？

子どもが、思いを言葉で伝えられない時は、話したい気持ちや伝えたい思いをくみ取り『こちらは聞く準備ができてるよ』と態度で示してあげましょう



「自分で」と、やりたいことがいっぱい時期です。やり方や、約束を丁寧に知らせながら、自分でできたという満足感を味わわせてあげましょう。

大人の「できる」と、子どもの「できた」は、完成度が違って当然。少しずつできることが増えていくように応援していきましょう。

イヤイヤが始まったら、子どもの気持ちをまずは受け止めてあげましょう。親が感情的になったり頭ごなしに否定せず、ゆっくり説明してあげましょう。



「なぜ？どうして？」と質問が増ってきます。大人との会話が少しずつできるようになってくるので、質問には子どもがわかりやすい言葉で答えてあげましょう。



うみのこ

母子健康手帳を受け取られてから、子どもさんが18歳に成長するまで「妊娠から子育てのこと」を一緒に考えていきましょう！ いつでも訪ねてきてください。

お電話でも OK です。TEL 0533-56-2305